

サーモスタット混合水栓

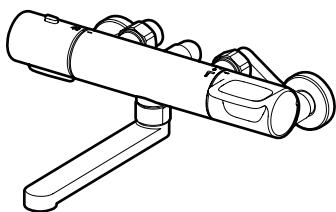
BF-KA145 型
BF-KA146 型
BF-KA147 型
BF-KA246 型
BF-KA247 型
BF-KA345 型

RBF-911 型
RBF-912 型
RBF-913 型
RBF-914 型
RBF-916 型
RBF-917 型

上記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番シールをご確認ください。
品番シールの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになったあともすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に記載されている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入のうえ、お客さまに必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

■ 商品概要	1
■ 安全上のご注意	5

■ ご使用方法	11
■ 凍結のおそれがある場合	14

■ 日常のお手入れ	17
■ 定期的なお手入れ	19
■ 定期的な部品交換のお願い	22

■ 修理を依頼される前に	23
■ アフターサービスについて	34

商品概要



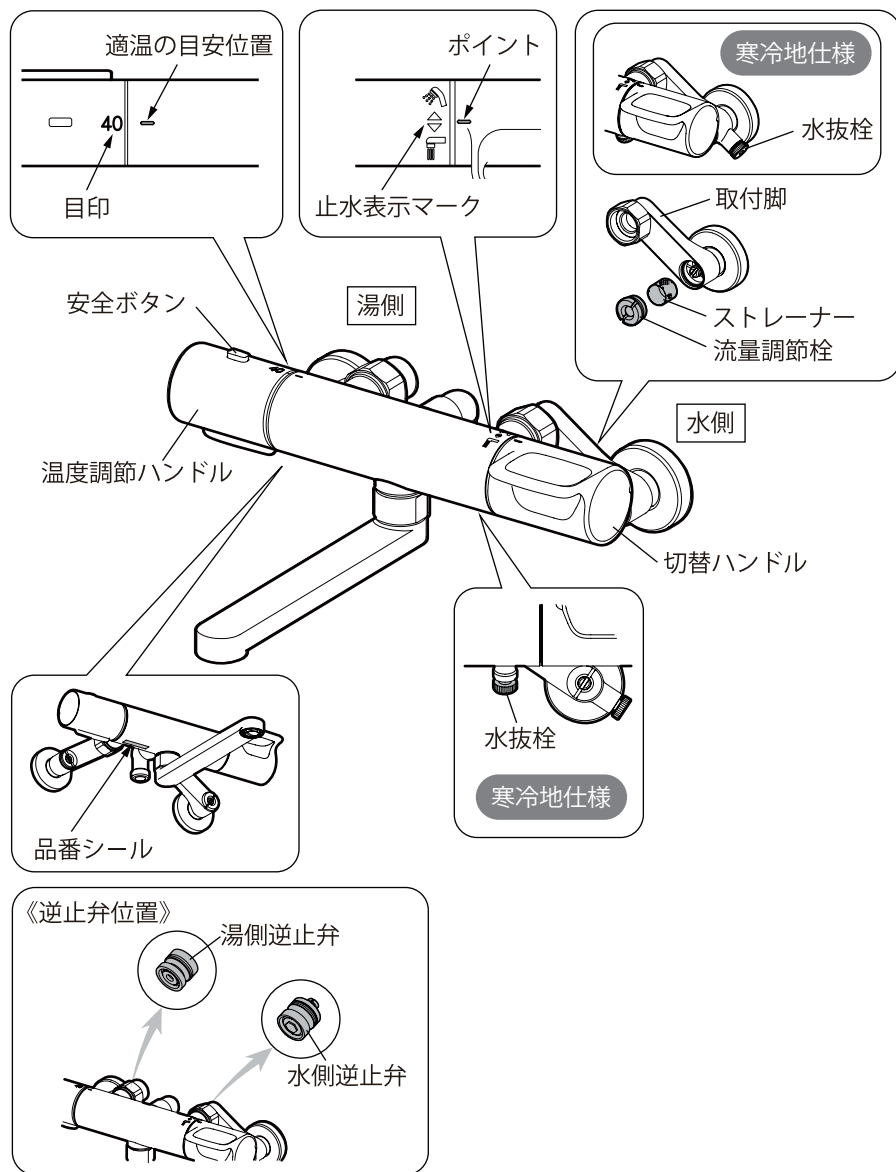
温度調節ハンドル⇒ P.11
温度を調節できます。

切替ハンドル⇒ P.12
ハンドシャワー⇄吐水口の切
替え、湯水の出し止め、流量
調節ができます。

こんなときは

給湯器で設定した温度の湯が出ない	サーモスタット混合水栓は、水を混合して吐水温度を調整しています。給湯器の設定温度より吐水温度は低くなります。「給湯器と組み合わせてご使用の場合」、「温度調節ハンドルの位置調整」をご確認ください。	
	給湯器と組み合わせてご使用の場合	P.3
	温度調節ハンドルの位置調整	P.31
流量が少ない	流量調節栓で流量の調整をしてください。	P.29
ハンドシャワーのお困りごとは	ハンドシャワーに同梱の取扱説明書をご確認ください。	
その他のお困りごとは	「修理を依頼される前に」をご確認ください。	P.23

各部の名称



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

ご使用前に

●給湯機器と組み合わせてご使用の場合

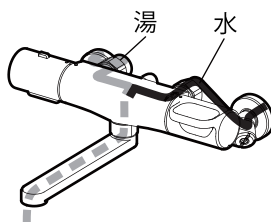
給湯器の設定温度は、ご希望の吐水温度より高めに設定してください。
ただし、ヤケド防止のため、60℃を超えない設定にしてください。

※給湯温度は 50℃以上 60℃以下の設定をおすすめします。

湯水が出るしくみ

サーモスタット混合水栓は、湯と水を混合して吐水温度を調整しています。

吐水温度は給湯器の設定温度より低くなります。



- 給湯温度を変更すると、温度調節ハンドルの表示どおりの湯が出なくなる場合があります。

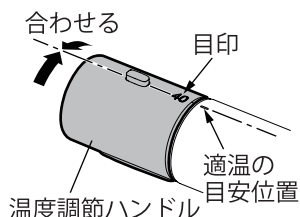
※温度調節ハンドルの再調整を行ってください。

- 少ない流量で使用するすると、給湯器が作動しない場合があります。

※給湯機取扱説明書にて最低動作流量をご確認のうえご使用ください。

●温度調節ハンドルの位置の確認

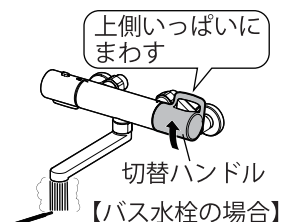
温度調節ハンドルは出荷時に設定していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの温度が出ないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか次の手順でご確認ください。



1. 温度調節ハンドルの目印を適温の目安位置に合わせます。



2. 切替ハンドルを上側いっぱいにもわして、吐水温度を確認します。



吐水温度が	適温（約 40℃）である	そのままご使用いただけます。
	適温（約 40℃）に合っていない	「温度調節ハンドルの位置調整 (P.31)」をご参照いただき再調整をしてください。 LIXIL 修理受付センターにおいてもハンドル調整を承りますが、保証期間内でも有料作業となります。

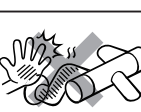
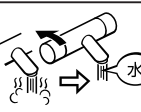
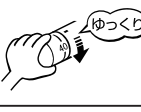
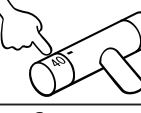
安全上のご注意

- ・ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- ・ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ・お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

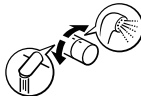
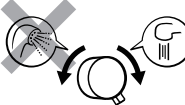
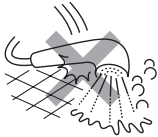
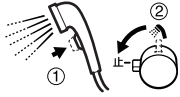
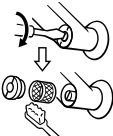
用語および記号の説明

警告	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
	「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
 (禁止)	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
 (分解禁止)	「分解してはいけません！」
 (接触禁止)	「指示した場所には触れてはいけません！」
 (指示)	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告：ヤケドをしないために

 (禁止)	小さいお子さまだけでのご使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをするおそれがあります。	
 (禁止)	湯をご使用のときは、他所の水栓と同時に使用しないでください。 ※圧力変動により湯温が上昇し、ヤケドをするおそれがあります。	
 (禁止)	給湯器の設定温度は 60℃より高温にしないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ※十分な機能を発揮させるため、50℃以上 60℃以下をおすすめします。	
 (禁止)	シャワーには熱湯 (45℃より高温) を通さないでください。 ※ヤケドをするおそれがあります。	
 (接触禁止)	高温の湯をご使用のときは、吐水口やホースが高温になっていますので、直接触れないでください。 ※ヤケドをするおそれがあります。	
 (接触禁止)	水栓の左側 (壁付水栓の場合は湯側取付脚) は、高温になっていますので、直接触れないでください。 ※ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	高温の湯をご使用のあとは、必ず温度調節ハンドルを適温以下の位置に戻してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	サーモスタット混合水栓の温度調節ハンドルは、ゆっくりとまわしてください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	温度調節ハンドルの調節位置を確認してから吐水してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	シャワー使用中に給湯器の設定温度を変えないでください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	

⚠ 警告：ヤケドをしないために

 (指示)	切替ハンドルの位置を確認してから、吐水してください。 ※不意に水をかぶったり、高温の湯が出てヤケドをしたりするおそれがあります。	
 (指示)	ご使用になる前に、または吐水モードを切り替えたときは、必ず素手で適温であることを確認してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	シャワーをご使用のあとは、切替ハンドルを必ず吐水口側に切り替えてください。 ※不意に水をかぶったり、高温の湯が出てヤケドをしたりするおそれがあります。	
 (禁止)	シャワーをご使用のときに、吐水口から湯水を出さないでください。 ※シャワーの温度が急上昇し、ヤケドをするおそれがあります。	
 (禁止)	マッサージ吐水は、顔に使用しないでください。 ※ヤケドやケガをするおそれがあります。	
 (禁止)	【スイッチシャワーの場合】 シャワーを乱暴に床に置いたり、落としたりしないでください。 ※一時止水スイッチが吐水状態になり高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	【スイッチシャワーの場合】 一時止水スイッチが吐水状態であることを確認してから、水栓本体のハンドルを操作してください。 ※一時止水スイッチが止水状態でも、水栓本体の操作で一瞬シャワーが出ることがあり、不意に水をかぶったり、ヤケドをしたりするおそれがあります。	
 (指示)	給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	給水圧力 ≥ 給湯圧力 
 (指示)	ストレーナーの掃除をするときは、必ず流量調節栓を閉めてください。 ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	

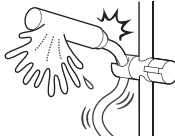
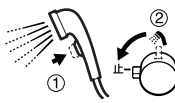
⚠ 警告：ヤケドをしないために

 (禁止)	【寒冷地の場合】 水抜栓は、水抜き以外の目的で開けないでください。 ※高温の湯が出てヤケドをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害が発生したりするおそれがあります。	
--	---	--

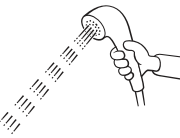
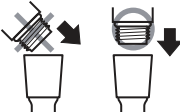
⚠ 警告：正しくご使用いただくために

 (分解禁止)	修理技術者以外の人は絶対に、分解したり、修理・改造したりしないでください。 ※ケガや、故障・破損のおそれがあります。	
--	--	--

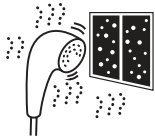
⚠ 注意：正しくご使用いただくために

 (禁止)	水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。 ※商品の内部腐食により、漏水、故障の原因となります。 ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の 水質基準に適合する水をいいます。	水道水のみ OK 
 (禁止)	衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水、故障の原因となります。	
 (指示)	シャワーの吐水量を調節してご使用ください。 ※シャワーの吐水量が多過ぎると、シャワーヘッドが外れてケガをするおそれがあります。	
 (指示)	【スイッチシャワーの場合】 ご使用後は、一時止水スイッチを吐水状態にし、水栓本体のハンドルで止水してください。 ※一時止水スイッチのみで長時間止水した場合、内部の水圧によりホースが劣化し、破損する可能性があります。	
 (禁止)	中性洗剤以外は使用しないでください。 ※変色や破損のおそれがあります。	

▲ 注意：正しくご使用いただくために

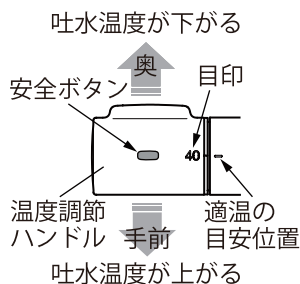
 (指示)	ハンドシャワーに同梱の取扱説明書がある場合は、あわせてご参照いただき、注意事項を守ってご使用ください。	
 (指示)	給水圧力が高い地域でご使用のときは、シャワーヘッドをしっかりと手で持ってください。 ※床に置いたシャワーヘッドが暴れたり、シャワーフックから落下したりして、ケガをするおそれがあります。	
 (禁止)	シャワーヘッドを貯めた水に浸けないでください。 ※汚水や雑菌などが水栓内部に浸入するおそれがあります。	
 (指示)	シャワーヘッドを取り付けるときは、ネジ部をまっすぐに挿入するようにしてください。 ※ネジ部が斜めになると、樹脂製のネジ部が潰れ、シャワーヘッドが取り付けなくなるおそれがあります。	
 (禁止)	ハンドシャワーを落としたり、ぶつけたりしないでください。 ※キズがつき、ケガをするおそれがあります。 ※衝撃で破損し、漏水や故障の原因となります。 ※周囲の物が破損し、ケガをするおそれがあります。 【めっきタイプの場合】 ハンドシャワーにキズがついた場合は、LIXIL 修理受付センターに修理、交換を依頼してください。有料修理にて承ります。	
 (指示)	めっきのハガレはそのまま放置せずに、修理依頼してください。 ※はがれためっきやキズでケガをするおそれがあります。修理依頼は取付店（または販売店）または LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。	

⚠ 注意：凍結防止のために

 (指示)	凍結のおそれがあるときは、本誌内「凍結のおそれがある場合」をご参照のうえ、凍結予防を確実に実施してください。寒冷地の場合は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。 ※凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ※凍結による破損は保証期間内であっても有料修理となります。	
 (指示)	凍結のおそれがあるときは、ご使用後にシャワーヘッドをよく振って、水を抜いてください。 ※シャワーヘッド内に水が残っていると、凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。	
 (指示)	凍結のおそれがあるときは、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。 ※水栓が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。配管部などに保温材を巻いてください。 ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。	
 (禁止)	解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。 ※水栓が発熱して破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	

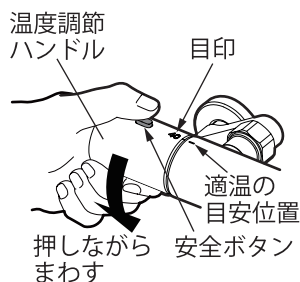
ご使用方法

温度の調節



温度調節ハンドルをまわすと、吐水温度を調節できます。

吐水温度はシャワー側と吐水口側で温度差がある場合があります。



【高温の湯を出す場合】

安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルをまわしてください。

安全ボタンは、ヤケドを防止するため、適温の目安位置を超えた付近で温度調節ハンドルをロックするものです。

注意

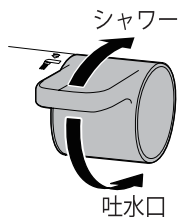
高温の湯をご使用のあとは、必ず温度調節ハンドルの目印を適温の目安位置より奥側にしてください。

※高温の湯が出てヤケドをするおそれがあります。

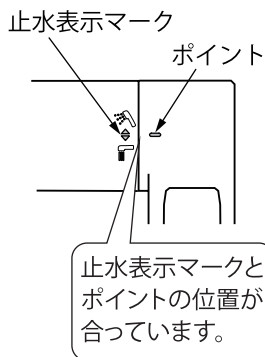
給水温度は季節を通じて一定ではありません。この温度変化によりハンドルの位置と吐水温度が合わなくなることがあります。

一年を通して快適にご使用いただくために、給湯器の設定温度を「夏は低め」「冬は高め」に設定することをおすすめします。

水を出す・止める・流量を調節する

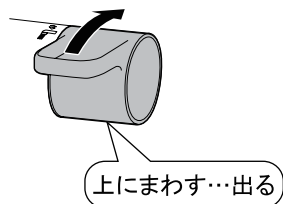


切替ハンドルを上にもわすとシャワーから、切替ハンドルを下にもわすと吐水口から湯水が出ます。まわし具合で流量を調節できます。



切替ハンドルのポイントを左図の止水表示マークの位置に合わせると湯水が止まります。

【吐水口のみ、シャワーのみの仕様の場合】



切替ハンドルを上にもわすと湯水が出ます。まわし具合で流量を調節できます。切替ハンドルのポイントを本体部の止水表示マークの位置に合わせると湯水が止まります。

切替ハンドルはゆっくり操作してください。水を止めたときに『ドン』と音がするウォーターハンマー現象が発生する場合があります。
※配管の破損や漏水の原因となります。

注意

- 湯水を出す前に、シャワーと吐水口のどちら側から出すかをご確認ください。

※不意に湯水をかぶったり、高温の湯が出てヤケドをしたりするおそれがあります。

- スイッチシャワーをご使用になるときは、一時止水スイッチが吐水状態であることを確認してから、水栓本体のハンドルを操作して湯水を出してください。

※一時止水スイッチが止水状態でも一瞬シャワーが出ることがあり、不意に水をかぶったり、ヤケドをしたりするおそれがあります。



シャワーヘッドに同梱の取扱説明書がある場合は、あわせてご確認ください。

凍結のおそれがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。

凍結による破損は、保証期間内でも**有料修理**となります。

凍結のおそれがある場合や、長期間使用しないときは、急な冷え込みにそなえて、凍結予防を行ってください。

凍結予防のしかた

浴室内の温度が氷点下にならないようにしてください。なお氷点下になることが予想される場合は「換気扇を止めて」「窓を閉めた」うえで、次の対策をしてください。

一般地の場合

凍結のおそれがある場合は、以下の対策で凍結を予防できる場合があります。

- 少量の糸引き状の水を出したままにする。



- 配管などに保温材を巻く。

寒冷地の場合

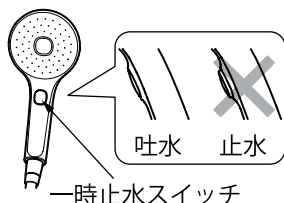
凍結のおそれがある場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

準備

ご自宅の配管の水抜きをしてください。

必ず実行してください。配管内の水抜きを行っていないと、水栓内の水が十分に抜けず凍結のおそれがあります。

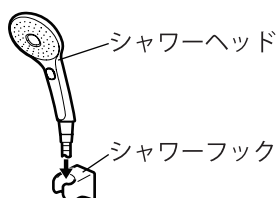
スイッチシャワーの場合は手順 1 から、その他のシャワーの場合は手順 2 から行ってください。



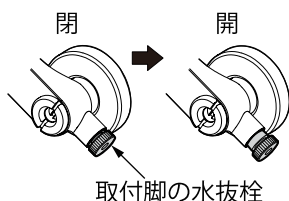
1.【スイッチシャワーの場合のみ】

スイッチシャワーの一時止水スイッチを「吐水」状態にして、切替ハンドルを上側（シャワー）にまわし、シャワーから水を出す。

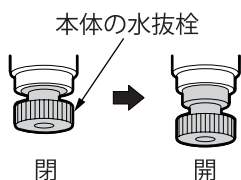
2. 切替ハンドルを止水位置に戻す。



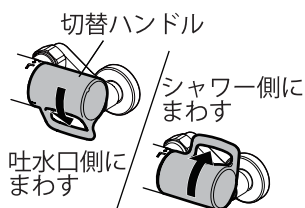
3. シャワーヘッドをシャワーフックにかける。



4. 水側と湯側の取付脚の水抜栓を開ける。



5. 水栓本体の水抜栓を開ける。



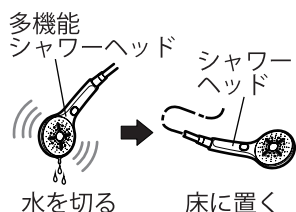
6. 切替ハンドルをまわす。

吐水口側・シャワー側それぞれ行ってください。

7. 切替ハンドルを止水位置に戻す。



8. 温度調節ハンドルを数回まわす。



9. シャワーヘッドをよく振って水を切り、床に置く。

多機能シャワーヘッドは、切替位置ごとに水を切ってください。

ポイント

水抜きを行っても水栓内に残った水滴が凍りつき、水が出てこないことがあります。その場合は、水栓にタオルなどを巻き付け、ぬるま湯をかけてください。

【通水再開のしかた】

通水を再開するときは、以下の手順で行ってください。

- シャワーヘッドをフックにかける。(手順 3)
- 水側と湯側の取付脚の水抜き栓を閉める。(手順 4 の逆の操作)
- 水栓本体の水抜き栓を閉める。(手順 5 の逆の操作)
- 切替ハンドルを止水位置に戻す。

日常のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために、普段のお手入れは次のことに注意してください。

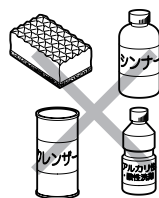
布などを使用したお手入れ

- ・汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取り、その後水拭きしてください。
- ・水栓の裏側や狭い隙間などは、30cm 程度の薄い布の両端を持ち左右に動かしながら拭き取ってください。
- ・お手入れ後は、水滴や汚れ、洗剤を残さないように、から拭きしてください。

重要

商品の表面を傷めるおそれのある以下のものは使用しないでください。

- ・クレンザー、磨き粉などの粒子を含んだ洗剤
- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・研磨粒子入スポンジ、ナイロンたわし、ブラシなど
- ・シンナー、ベンジンなどの溶剤



※ヒビ割れや変形、変色、故障、性能劣化の原因となります。

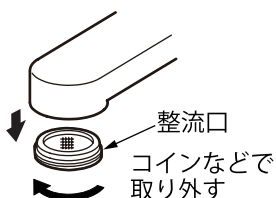
- ・メラミンフォームをご使用の際は、こすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- ・壁面のタイルなどをカビ取り剤などで洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。
- ・着色されたうがい薬などが商品に付いた場合は、商品表面の変色の原因となりますので、すぐに水洗いしてください。

※変色やキズがついてしまった場合は、取付店（または販売店）または LIXIL 修理受付センターへお問い合わせください。

整流口の掃除

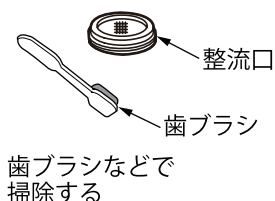
【BF-KA シリーズの場合】

吐水が乱れたり、吐水量が少なくなった場合は、整流口のゴミ詰まりが考えられます。ときどき次の手順で掃除を行ってください。

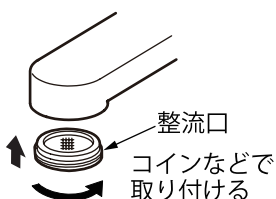


1. コインなどで整流口を矢印の方向にまわして取り外す。

整流口をキズつけないようにしてください。
部品が破損するおそれがあります。



2. 整流口に付いたゴミや汚れを歯ブラシなどで掃除する。



3. コインなどで整流口を矢印の方向へまわして元通りに取り付け、漏水がないことを確認する。

定期的なお手入れ

長くご使用いただくために定期的なお手入れをおすすめします。お手入れのときに異常を見つけた場合は、取付店（または販売店）または LIXIL 修理受付センターへ修理をご依頼ください。

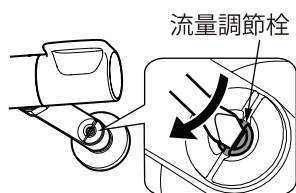
また漏水している場合は、修理を依頼される前に止水栓または元栓を閉めてください。

ストレーナーの掃除

吐水量が少なくなった場合はストレーナーのゴミ詰まりが考えられます。ときどき次の手順で掃除を行ってください。

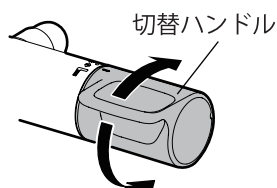
重要

- 作業前に湯側（左）の取付脚が熱くないか確認してください。
※ヤケドのおそれがあります。
- ストレーナーの掃除をする前に必ず流量調節栓を閉じてください。
※閉じずに作業を行うと高温の湯が吹き出しヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



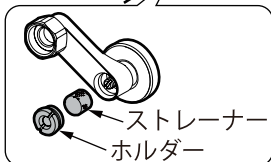
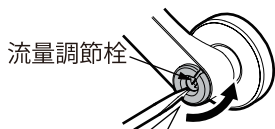
1. マイナスドライバーで湯側・水側の両方の流量調節栓を右側いっぱいまでまわして閉じる。

閉じるときに、どの程度回転させたかを覚えておくと、掃除後開くときに調節しやすくなります。



2. 切替ハンドルを まわして、水が出ないことを確認し、元の位置に戻す。

吐水口やシャワーから水が出ることがあります。



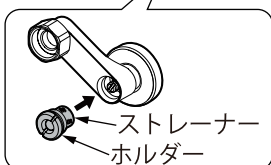
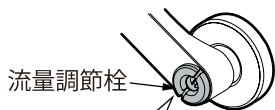
3. マイナスドライバーでホルダーを矢印の方向へまわして、ホルダーとストレーナーを取り外す。

流量調節栓を触らないようにしてください。



歯ブラシ ストレーナー

4. ストレーナーに付いたゴミや汚れを歯ブラシなどを使用して水洗いする。



5. ホルダーとストレーナーを取り付け、流量調節栓を湯側・水側の両方とも元の位置まで開ける。

流量調節栓は、必ずホルダーとストレーナーを取り付けたあとに開けてください。

流量が合わなくなった場合は、P.29 をご参照いただき調整してください。

水まわりの漏水 (年2回以上)

水まわりの漏水がないか点検してください。
見えない部分は特に注意が必要です。

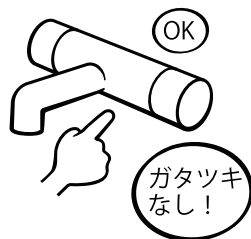
劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



水栓本体のガタツキ (年 2 回以上)

水栓本体のガタツキがないかを確認してください。

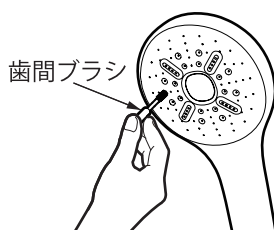
水栓本体にガタツキがあるままご使用になると、配管に負担がかかり、漏水の原因となります。



散水板の掃除

ワイヤータイプの歯間ブラシ (最小通過径 0.7mm 以下) などを活用して、掃除してください。

散水板の汚れや目詰まりは、流量の低下やシャワーの飛び散り・シャワーヘッドからの漏水を招く原因になります。



- ・歯間ブラシなどを奥まで挿入しないでください。
※中の部品が破損するおそれがあります。
- ・歯間ブラシなどを強い力で挿入しないでください。
※散水穴が変形するおそれがあります。
※シャワーヘッドの中の部品が破損するおそれがあります。
- ・歯間ブラシのワイヤーを曲げて使用しないでください。
※ワイヤーが折れて抜けなくなり、故障の原因になるおそれがあります。

温度調節ハンドルのお手入れ (月 1 回)

温度調節ハンドルをときどきまわしてください。

温度調節ハンドルを長期間まわさずに使用すると機能部に水アカなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。



定期的な部品交換のお願い

安全・快適にご使用いただくため定期的な部品交換が必要です。取付店（または販売店）またはLIXIL 修理受付センターへ修理をご依頼ください。
※部品交換の際は、商品状況により摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

摩耗劣化する部品の交換

- ・部品が摩耗・劣化すると漏水などの原因となるため交換が必要です。
※保証期間外の各部品交換は、**有料**になります。
- ・摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）
例）逆止弁、ハンドル、ハンドシャワー、シャワーホース、シャワーフック、ソケット部、バルブ部（切替弁など）、温度調節カートリッジ、パッキンなど

〈定期的な点検・部品交換のめやす〉

使用年

／ 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5 ／ 6 ／ 7 ／ 8 ／ 9 ／ 10 ／ 11 ／ 12

お客さまによる日常のお手入れ・点検

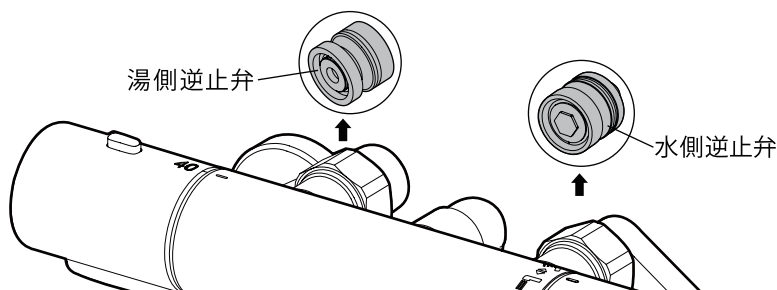
消 耗 部 品 の 交 換

摩耗劣化部品の交換（逆止弁は3年～5年）

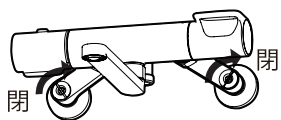
買 換 え
ご 検 討

逆止弁は3～5年を目安に交換してください。

逆止弁が正常に機能なくなると、水が逆流するおそれがあります。また漏水など予期しない不具合の原因となります。



修理を依頼される前に



湯 (左側)

水 (右側)

漏水している場合は、水側と湯側の止水栓を閉めてください。

その後、「アフターサービスについて」をご参照いただき、修理を依頼してください。

水が止まらない		
切替ハンドルが開いていませんか？	切替ハンドルが止水位置に合っていない場合は、止水位置に合わせてください。	P.12

水を止めたあとに少しの間水が垂れる		
故障ではありません。	ハンドシャワー内にたまった水が出てくるためです。ご使用後は、シャワーヘッドの水をよく切ってください。数分間止まらない場合は、ハンドルが完全に閉まっているか確認してください。 【角度調整式のシャワーフックをご使用の場合】 角度によっては、水を止めたときにシャワーから水が垂れやすくなる場合があります。その場合は、角度を調節してご使用ください。	—

使用していないのに、切替ハンドル付近から水がポタポタと数滴垂れる		
すぐに止まる場合は、内蔵の圧力逃し弁が作動したため故障ではありません。	圧力逃し弁とは、他所の水栓や洗濯機などの使用時や温度上昇時に起こる圧力上昇から水栓を保護するための弁で、作動すると切替ハンドル付近から数滴の水が垂れることがあります。(作動時に”ギュッ”と音がする場合があります。)	—

温度が安定しない、温度調節がうまくできない		
給湯機器は正常に作動していますか？	給湯器が正常に作動している場合でも、給湯器と水栓の配管距離が長い場合は、湯が出てくるまで時間がかかる場合があります。湯の位置にして水を出したまま、しばらくお待ちください。	—
給湯機器の温度は正しく設定されていますか？	サーモスタット混合水栓は、湯水を混合して吐水温度を調整しています。給湯温度は 50℃以上 60℃以下 に設定してください。	P.3
他の場所（トイレ、キッチン、洗面など）で同時に水栓を使用していませんか？	配管内の水圧が変化することで、温度が不安定になる場合があります。他の場所の水栓と同時に使用しないでください。	—
浴槽への湯はり中ではありますか？	湯はり中に水栓から湯を出すと、給湯温度が湯はりの温度に下がるため、吐水の温度が低くなる場合があります。湯はりが終わってからご使用ください。	—
しばらく流したら、湯が出てきませんか？	給湯器と水栓金具の配管距離が遠い場合は、湯が出てくるまで時間がかかります。温度が安定するまで湯を出し続けてからご使用ください。	—
温度調節ハンドルを水側にしたときの流量が少なくありませんか？	流量が正しく調整がされていない可能性があります。「流量の調整」をご参照いただき、湯側・水側の流量調節栓を調整してください。	P.29
温度調節ハンドルの表示と吐水温度は合っていますか？	給湯器の設定温度、季節による給水温度変化により、表示どおりにならなかったり、吐水温度が変化する場合があります。温度調節ハンドルの位置を調節してください。大きく位置がズれている場合は、「温度調節ハンドルの位置調整」をご参照いただき、温度調節ハンドルの位置を調整してください。	P.31

温度が安定しない、温度調節がうまくできない		
キッチンや洗面水栓の温度調節は問題なくできていますか？	【他の場所の水栓も不安定な場合】 給湯器に原因がある可能性があります。給湯器メーカーにお問い合わせください。 【浴室の水栓のみ不安定な場合】 温度調節ハンドルの位置を再調整してください。	P.31
流量調節栓は調整されていますか？	湯の流量が少ないと、給湯器が点火しません。「流量の調整」をご参照いただき、湯側・水側の流量調節栓を調整してください。	P.29
ストレーナーにゴミが詰まっていますか？	ストレーナーにゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.19
散水板にゴミが詰まっていますか？	散水板にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.21

高温の湯しか出ない		
水側の流量調節栓は十分開いていますか？	「流量の調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.29

低温しか出ない		
給湯器の設定温度は希望の温度より低いもしくは同じくらいになっていませんか？	サーモスタット混合水栓は、湯水を混合して吐水温度を調節しています。給湯温度は 50℃以上 60℃以下 に設定してください。	P.3
湯側の流量調節栓は十分開いていますか？	「流量の調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.29

高温の湯が出ない		
給湯器の温度は正しく設定されていますか？	サーモスタット混合水栓は、湯水を混合して吐水温度を調節しています。給湯温度は 50℃以上 60℃以下 に設定してください。	P.3
【高温出湯規制仕様】故障ではありません。	ヤケド防止のため温度調節ハンドルは約45℃付近でストップし、それ以上まわらないようになっています。	—

水が出ない		
流量調節栓は十分に開いていますか？	「流量の調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.29
断水中ではありませんか？	回復するまでお待ちください。	—
ストレーナーや散水板にゴミが詰まっていますか？	ストレーナーや散水板にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.19 P.21

水栓から音がする		
切替ハンドルを早く閉めていませんか？	水を止めたときに『ドン』と音がするウォーターハンマー現象が考えられます。流量調節栓で流量を適切に調整いただくか、ゆっくりと切替ハンドルを閉めてください。	P.29
流量は流量調節栓で適切に調整されていますか？	流量が多いと、水が流れる流水音がします。「流量の調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.29
シャワーヘッド内部の『ブーン』という音ですか？	故障ではありません。シャワーヘッド内で部品を回転させている音です。	—
シャワーを振ったときの『カタカタ』という音ですか？	故障ではありません。シャワーヘッド内の部品が動いている音です。	—
吐水時にシャワーから聞こえる『シュー』という音ですか？	故障ではありません。シャワーヘッド内に空気を取り入れている音です。	—

流量が少ない		
切替ハンドルは十分に開いていますか？	切替ハンドルを十分に開けてご使用ください。	P.12
流量調節栓は十分に開いていますか？	「流量の調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.29
給湯器の温度は正しく設定されていますか？	サーモスタット混合水栓は、湯水を混合して吐水温度を調節しています。給湯温度は 50℃以上 60℃以下 に設定してください。	P.3
【能力切替付ガス給湯器をご使用の場合】 給湯器の能力は適正能力に設定されていますか？	給湯器の能力を適正能力に設定してください。	—
ストレーナーにゴミが詰まっていますか？	ストレーナーにゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.19
散水板にゴミが詰まっていますか？	散水板にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.21
【スイッチシャワーの場合】 減圧弁のフィルターにゴミが詰まっていますか？	水栓本体から減圧弁を取り外し、接続部にあるフィルターにゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	—

流量が多い		
流量調節栓を適切に絞っていますか？	「流量の調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.29

水の流れが乱れる		
散水板にゴミが詰まっていますか？	散水板にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.21

接続部から水漏れする		
シャワーホース接続部から水が漏れていますか？	各接続部をしっかりと固定してください。 ・シャワーヘッドとシャワーホース ・シャワーホースの袋ナットとシャワーエルボまたはバルブ（工具）	—
吐水口接続部から水が漏れていませんか？	本体と吐水口部を接続している袋ナットを工具を用いてしっかりと締め付けてください。 吐水口が外れた場合は、「吐水口の取付方法」をご参照ください。	P.33
取付脚と本体の接続部から水が漏れていませんか？	本体と取付脚を接続している袋ナットを工具でしっかりと締め付けてください。	P.33

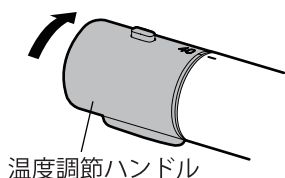
シャワー使用時、シャワーヘッドがシャワーフックから浮き上がる		
流量調節栓は調整されていますか？	流量が多すぎるとシャワーヘッドが動くことがあります。「流量の調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.29
シャワーフックは正しい位置に取り付いていますか？	シャワーフックが床などに近い位置にある場合、シャワーホースに無理な力がかかってシャワーヘッドが外れやすくなります。シャワーフックの位置を変更するか、または「流量の調整」をご参照いただき、流量を絞ることで低減できます。	P.29

【多機能シャワーの場合】ミスト吐水に切り替えると冷たく感じる		
シャワー（ミスト吐水）とからだの距離は適切ですか？	故障ではありません。ミスト吐水は霧状で細かいので、冬の寒い時期などは周りの空気に比較的早く熱を奪われてしまうためです。	—

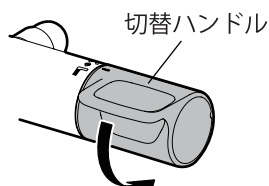
以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、「アフターサービスについて」をご参照いただき、取付店（または販売店）またはLIXIL 修理受付センターまでお問い合わせください。

●流量の調整

流量が多い場合は、湯側・水側の流量調節栓をそれぞれ次の手順で調整してください。

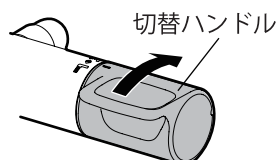


1. 温度調節ハンドルを上側（水）いっぱいになわす。



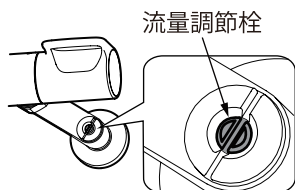
2. 切替ハンドルを下側（吐水口）へまわし、全開で水を出す。

【吐水口のみ、シャワーのみの仕様の場合】

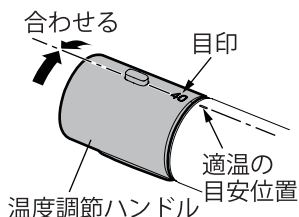


切替ハンドルを上側へまわし、全開で水を出す。

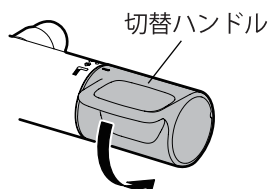
【吐水口のみ、シャワーのみの仕様の場合】



3. マイナスドライバーで水側（右）の流量調節栓をまわし、最適な流量に調整する。

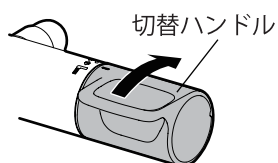


4. 温度調節ハンドルの目印と適温の目安位置を合わせる。



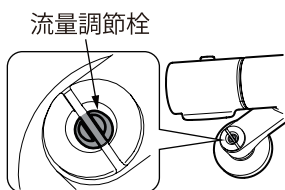
5. 切替ハンドルを下側（吐水口）へまわし、全開で水を出す。

【吐水口のみ、シャワーのみの仕様の場合】



切替ハンドルを上側へまわし、全開で水を出す。

【吐水口のみ、シャワーのみの仕様の場合】



6. マイナスドライバーで湯側（左）の流量調整栓をまわし、最適な流量に調節する。

ポイント

最適な流量とは、洗面器（容量 3L）が 10 秒弱でいっぱいになる流量です（＝約 20L/分）。

※シャワーでも快適な流量になっていることを確認してください。

●温度調節ハンドルの位置調整

吐水温度と温度調節ハンドルの表示が合っていない場合は、次の手順で再調整をしてください。

LIXIL 修理受付センターにおいてもハンドル調整を承りますが、保証期間内でも **有料作業** となります。

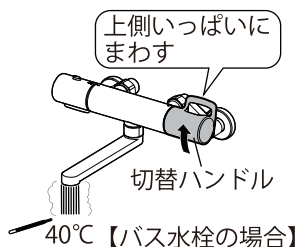
動画はコチラ！
※別途通信料が発生する場合があります。



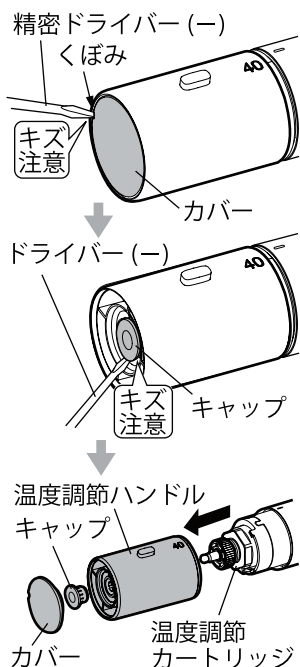
6272578236001



1. 切替ハンドルを上側いっぱいにならして、目印に関係なく吐水温度が適温（約40℃）になるように温度調節ハンドルをまわしたのち、湯水を止める。



- 温度調節ハンドルには、安全ボタンがついており、適温の目安位置を少し過ぎたところで一度ロックされます。さらに高温側にまわしたいときは、安全ボタンを押しながらまわしてください。
- 品番によって操作方法が異なります。



2. 精密ドライバー (-) をカバーと温度調節ハンドルのかぼみに差し込み、温度調節ハンドルがまわらないようにカバーを取り外す。

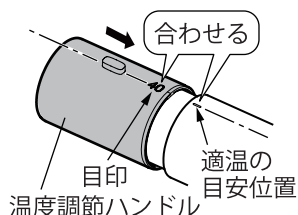
3. ドライバー (-) をキャップと温度調節ハンドルの間に差し込み、温度調節ハンドルがまわらないようにキャップを取り外す。

カバー・キャップを取り外すときは、慎重に取り外してください。

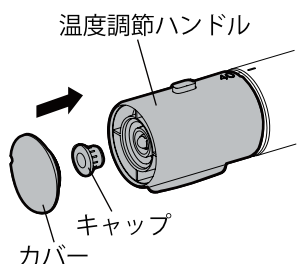
無理に取り外そうとすると、キズ、破損の原因となります。

4. 手で温度調節ハンドルを引き抜く。

温度調節カートリッジは、絶対に外さないでください。



5. 取り外した温度調節ハンドルの目印が適温の目安位置に合うように温度調節ハンドルを手で取り付ける。

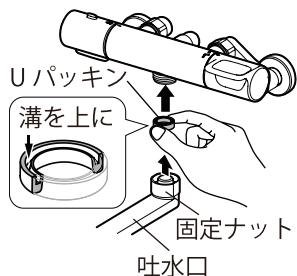


6. 温度調節ハンドルがまわらないようにキャップ、カバーの順番に手でしっかり奥まで挿入して取り付ける。

取り付けたあとは、温度調節ハンドルの目印を適温の目安位置に合わせて吐水温度が適温 (約 40℃) になっているかを確認してください。

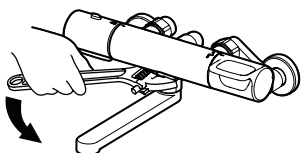
高温の湯が出てヤケドをするおそれがあります。

●吐水口の取付方法



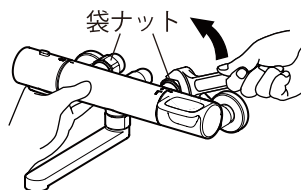
1. Uパッキンを水栓本体に挿入してから吐水口を差し込む。

Uパッキンは、溝を上にして挿入してください。



2. モンキーレンチ等の工具で固定ナットをしっかり締め付ける。

●取付脚と本体接続部の締付方法



モンキーレンチ等の工具で袋ナットをしっかり締め付ける。

アフターサービスについて

1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に (P.23)」を確認してください。

⚠ 注意

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。
※ケガをしたり、故障・破損のおそれがあります。



2. 保証書と保証期間

この商品は、保証書がついています。保証書は、取付店（または販売店）で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

＜保証期間中は＞

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

＜保証期間が過ぎているときは＞

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

＜修理料金は＞

- “技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

＜連絡していただきたい内容＞

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号 | 2. 商品名 |
| 3. 品番（商品に表示、右記参照） | 4. ご購入日 |
| 5. 故障内容、異常の状況 | 6. 訪問ご希望日 |



※品番は最後まで読みとってご連絡ください。

4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低10年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。

保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5. アフターサービスなどについておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》

取付店／販売店 または LIXIL修理受付センターへ

■WEB サイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間 9:00 ～ 19:00

（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などは緊急時のみ対応）

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

《使い方・お手入れ方法など商品に関するお問い合わせは》

■お客さま相談センター

受付時間 平日 9:00 ～ 18:00

土日・祝日 9:00 ～ 17:00

（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などを除く）

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用いただけない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さまなどの個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社個人情報保護方針に記載の目的のために利用させていただきます。

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「個人情報保護方針」をご覧ください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、取付店（または販売店）に修理をご依頼ください。

※品番・取付日／ご購入日・お客さま・取付店／販売店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：サーモスタット混合水栓		(品番：)	
保証期間		取付日／ご購入日	
取付日より2か年		年 月 日	
お客さま	おなまえ	取付店／販売店	TEL () -
	おところ		
	おでんわ		
() -			
無効			
お客さまへ			
・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。			
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。			

無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
 - 無料修理をお受けになる場合、取付店（または販売店）にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
 - ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取付店（または販売店）に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
 - 保証期間内で、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
 - 用途以外（車両、船舶および使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障および損傷などの不具合
 - 指定業者や施工説明書などに基づかない施工および工事に起因する不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障および損傷などの不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆など）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境および公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
 - 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変（火災、爆発など事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障および損傷
 - 戦争・暴動などの破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象
 - 消耗品（浄水カートリッジ、パッキン、ヒューズ、電池など）類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
 - 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水质基準に適合しない水を給水したことに起因する故障および損傷不具合
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障および損傷
 - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入および水あか固着に起因する不具合
 - ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水质、音、振動など）に起因する故障および損傷などの不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書に取付日／ご購入日・お客さまのお名前・取付店／販売店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、取付店（または販売店）または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
 - 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
 - 弊社ユニットバスルーム内に設置される場合は、ユニットバスルーム本体の無料修理規定（保証規定）に準じます。
- ※保証内容はWEB取扱説明書でもご確認くださいませ。なお、予告なく内容や条件を変更する場合があります。
また、一部の商品で確認できない場合もあります。あらかじめご了承ください。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などを除く）

※フリーダイヤルは携帯電話・

PHS・IP電話などではご利用

できない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

■WEB修理依頼はこちら

※24時間依頼可能

■お電話でも修理を承ります

受付時間／9:00～19:00



TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

<https://www.lixil.co.jp/support/>

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>